

## 研究開発課題事後評価結果

事業名（年度）	次世代治療・診断実現のための創薬基盤技術開発事業 （平成30年度～令和2年度）
研究開発課題名	バイオ医薬品の高度製造技術の開発／高性能な国産細胞株の構築
分担研究開発課題名	高性能な国産細胞株の構築
代表機関名	高機能遺伝子デザイン技術研究組合／神戸大学
研究開発代表者名	近藤 昭彦

### 【評価結果】

優れている／計画した成果をやや上回る成果が得られた

### 【評価コメント】

ピキア酵母やコリネ菌を用いた単純タンパク質の生産技術の確立、低分子抗体の自動精製システムの構築、および生産量や細胞傷害活性に関する解析など、優れた成果を挙げた。メタノール誘導を必要としないピキア発現系の開発は実用段階での大きな課題を解決した。このように世界的な競争力がある基礎技術も含まれており、計画した目標を達成することができ、今後の発展が望める。特殊な抗体関連製品の実製造に用いることが可能になれば、この研究成果の意義は大きい。

一方、具体的な創薬シーズにおいて、本技術を応用した低分子抗体医薬品の研究開発の実証が行われないと研究成果の社会実装につながりにくい。先端に行く他の低分子抗体プロセスと比較した場合の優位点を明確にし、試験管レベルの成果から実製造レベルに発展させる必要がある。

以上